

## ■札幌市における肺結核患者等の治療成績とその分析について■

- 令和4年における札幌市の転出を除く新登録肺結核患者69名のうち、治療成功の割合（「治癒」・「治療完了」の合計）は68.1%であり、前年の73.1%に比べ、減少しました。【図1】
- 「死亡」は20名で29.0%と、過去5年間の中で最も割合が高くなりました。【図1】
- 令和4年における札幌市の転出を除く新登録肺結核患者69名のうち、「失敗」・「脱落・中断」をあわせた割合は2.9%であり、国で定める目標（5%以下）を達成しました。【図1】
- 「脱落・中断」は2名で“喀痰塗抹陽性初回治療”1名、“喀痰塗抹陽性再治療”1名となっています。【表1】
- 「脱落・中断」2名のうち、理由は2名とも、副作用によるやむを得ない指示中止でした。
- 潜在性結核感染症（LTBI）治療完了率は95%であり、国で定める目標（85%以上）を達成しています。【表2】

図1 新登録肺結核患者の治療成績推移（札幌市）

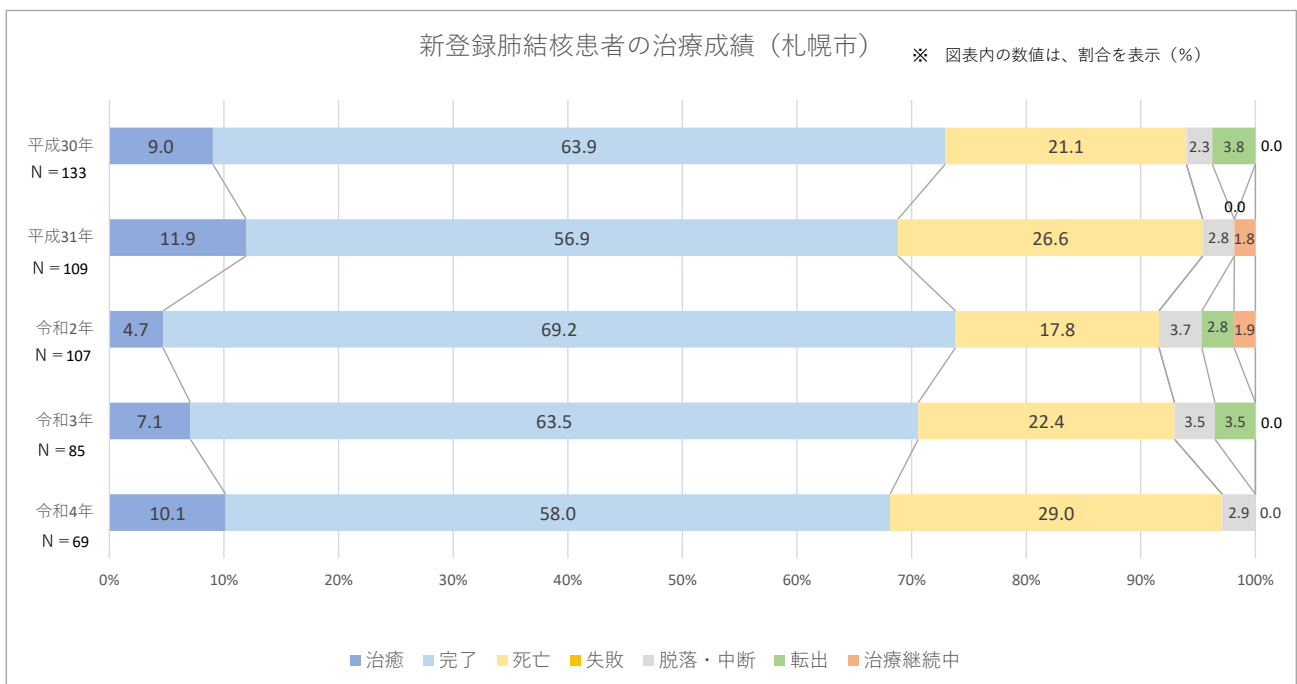


表1 令和4年 新登録肺結核患者の治療成績（札幌市）

治療成績	総数		喀痰塗抹陽性 初回治療(再掲)		喀痰塗抹陽性 再治療(再掲)		その他の結核菌 陽性(再掲)		菌陰性・ 不明(再掲)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 治癒	7	10.1%	5	19.2%	0	0%	1	7.1%	1	16.7%
2 完了	40	58.0%	12	46.2%	0	0%	4	28.6%	2	33.3%
3 死亡	20	29.0%	8	30.8%	0	0.0%	9	64.3%	3	50.0%
4 失敗	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 脱落・中断	2	2.9%	1	3.8%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 転出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 治療継続中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1～8の総計	69	100%	26	100%	1	100%	14	100%	6	100%

表2 令和4年 潜在性結核感染症（LTBI）治療状況（札幌市）

対象者(人)	80
治療完了(人)	76
治療未完了(人)	4
治療完了率(%)	95%

※治療日数175日以上

副作用による指示中止(1)、医師による指示中止(1)、治療途中で死亡(1)、一度受診後未受診で連絡付かず(1)

※指針における目標：85%以上